

# 日本国際情報学会 国際開発研究部会 2023年度 第3回 研究報告会 報告書

国際開発研究部会 2022年度第3回研究報告会を下記のとおり開催しました。

## 記

### 1 部会目的

国際開発課題を経済開発と社会開発の両面から捉えて、ミレニアム開発目標(MDGs)や持続可能な開発目標(SDGs)を含む国際開発枠組み及び人間の安全保障・人権・社会開発のような開発理念をアプローチし、そして貿易と開発、技術移転・技術開発の促進、産業集積と地域経済発展、貿易障壁の削減の諸課題を経済学的な視点から理論・実証・政策の側面から研究する。

### 2 開催日時

2023年(令和4年)2月18日(土) 15時00分～17時30分

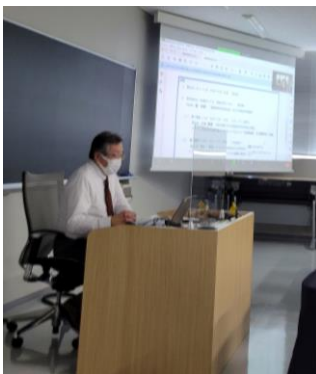
### 3 開催会場

日本大学経済学部3号館とZOOM(Web会議) ー同時開催ー

### 4 研究報告会〔各報告25分、質疑応答15分〕 (敬称略)

#### (1) 開会あいさつ(15:00～15:05)

陸 亦群 国際開発研究部会長・日本大学経済学部教授



今回の部会は、新たに2つの大学院から参加があった。歓迎します。今年度の部会は予定通り3回開催できた。これもメンバーの皆さんの協力のおかげであり感謝する。本日も意欲的な報告を受け、活発に意見交換をしていきたい。

(2) 研究報告会〔各報告25分、質疑応答15分〕 (敬称略)

第1報告(15:05~15:50) 《オンライン報告》

報告者: 小林 恵美 北海学園大学大学院経済学研究科修士課程

テーマ「ブラジルにおけるフェアトレードとコーヒー生産者組合 その関係性の一考察」



ブラジルにおけるフェアトレードのコーヒー生産者の運営状況と右派政権下での影響を確認するために昨年現地調査した内容を報告した。FLO 認証を受けることで、団体での研修や設備投資で生産性向上、収益向上に寄与していることが確認できた。一方、1月の左派政権交代による影響の継続調査が課題であるとした。

第2報告(15:50~16:35) 《対面報告》

報告者: 泉谷 清高 日本大学大学院総合社会情報研究科後期課程

テーマ「日本におけるカーボンニュートラル実現と再生可能エネルギー増設の制約条件」



電力部門でのカーボンニュートラルの必要性を指摘したうえで、日本の電源構成の推移を分析した。CO2削減のため、太陽光発電や風力発電が有望ではあるものの、天候に左右される変動性再生可能エネルギーであり、安定供給には調整力の確保が必要であると指摘した。

### 第3報告（16：40～17：25） 《オンライン報告》

報告者：田中 隆 日本国際情報学会

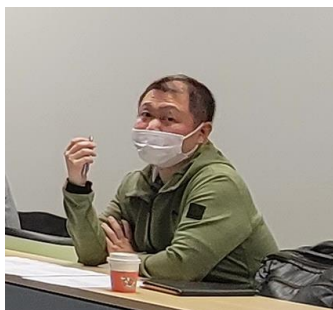
テーマ「ベトナムにおける都市化の現状と課題

～労働市場におけるミスマッチからのアプローチ～



ベトナムにおける労働市場でのミスマッチや教育・職業訓練の課題を抽出し、そこから人的資本を空間的事象として扱い、都市化の経済と関連付けた研究の可能性を示した。

(3) 閉会あいさつ 日本大学大学院総合社会情報研究科 准教授 前野 高章



本日はフェアトレード、電力供給、ベトナムでの労働市場と3つのテーマの報告を基に意見交換ができ大変良かったと思う。来年度も部会を継続させ、皆さんとともに様々な議論を重ねていきたいと思えます。

## 5 参加者

17名（会場9名、ZOOM8名）

